

中学 1 年 国語「広告の情報を考える」

柏市立柏第四中学校 安永 捷人

1. 探究的な学びの単元づくり

(1) この単元のねらいや身に付けたい力（情報活用能力の視点から）

広告の情報を分析し、言葉と画像を組み合わせ、魅力的な広告を作る

(2) 学習計画（全 7 時間）

学習のゴール： 広告コンクールで入賞しよう！

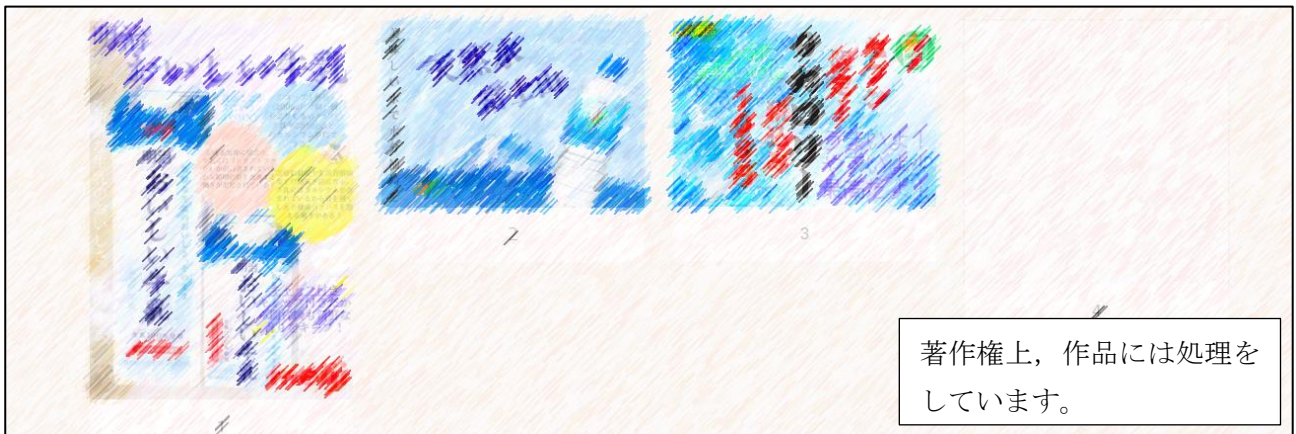
	時	・ 学習内容 ○身に付けたい力
1 課題の設定	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習のゴールを知る ・ 広告について知る 宿題…何の広告を作るか考えてくる
2 情報の収集	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な広告を比べる ○情報を整理する力
3 整理・分析	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広告を見て、どういう工夫がされているかを考え、分析する。 ・ 広告作りの練習
	4	※決まったポスターから一つ選んで、キャッチコピーを考えて、広告を完成させる ○情報を分析する力
	5	○情報の伝え方を工夫する力
	6 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 練習で作成した広告でミニコンクールを開く ・ 広告コンクールの部門を知り、応募する部門を決める ・ 何についての広告を作成するか決める ・ 広告作り① ※広告作りの方法は自分で選んでよい。例：Canva など ※Canva は以前の授業で合唱コンクールのポスターの作成に使用している。 ○情報を分析し、言葉と画像を効果的に組み合わせる力 ※広告作りは教室のどこで誰と行ってもよいが、必ず一人一枚作成する。
4 まとめ・表現	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広告作り② ○情報を分析し、言葉と画像を効果的に組み合わせる力 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広告のアップロードをし、コンクールに応募する ・ 気になった広告とそれに対する感想を書く ・ 広告コンクールの投票
5 振り返り改善		※Google サイトとフォームを使用し、広告を PC 上で見ながら同時にフォームで投票を行う <ul style="list-style-type: none"> ・ 投票結果の発表 ○自分自身の情報活用能力の向上 ○他者の広告を見て得た情報の様々な活用法について知る <ul style="list-style-type: none"> ・ 今日学んだことや目標達成の振り返り

2 実践の流れ（★端末を使用した活動）

○課題の設定（1時間目）

「広告の情報を考える」という単元をもとに授業を進めることを確認した。
学級内で広告コンクールを開くために「広告について学ぼう」という最終的なゴールを示した。

★広告コンクールには Google サイトを使用し、生徒が自らアップロードすることを示した。



★毎時間授業の始めと終わりに振り返りシート（全員で共有されている Google スプレッドシート）に取り組むことを確認した。

出席番号	名前	本時の目標	授業の振り返り
1		②自分の出来る限りで広告を制作...	他の班の人の作品を見ることで作る広告の幅が広がったと思う。コンクールに出す作品も色んな人
2		②自分の出来る限りで広告を制作...	・自分自身で作りたいと思う広告の目標が自分自身の広告でのテーマの「暖かさ・温もり」に繋が
3		①入賞を目指して広告を制作する	写真や、文字にこだわって制作できた。先生に、わからないことを聞くときに、うまく伝えられな
4		①入賞を目指して広告を制作する	考えが上手くまとまらずあまり良い作品を考えることができずに時間が終わってしまった。家など
5		①入賞を目指して広告を制作する	広告を作成するためのテーマを決めて何の食べ物にするのが決めた
6		①入賞を目指して広告を制作する	どんな広告を作ったらより伝わるかを考えて製作をすることができた。ミニコンクールを通して様
7		①入賞を目指して広告を制作する	自分の広告のアクセリアスが班で選ばれて嬉しかった。この経験を活かしたい 自分にあった広告
8		①入賞を目指して広告を制作する	今日は部門決めをして、最初から部門を決めていてどんな広告を作るか決まっていたが、実際
9		①入賞を目指して広告を制作する	どういうデザインや背景などにしたら入賞に近づけるか自分なりに考えてまだ途中だけれど制作が
10		①入賞を目指して広告を制作する	コンクールで作る部門を決められた。SDGsの15は自然が主なイメージなので緑や動物を入れた
11		①入賞を目指して広告を制作する	キャッチコピーや背景を作るのが難しかったです。まだ完成はしていないのでしっかりと入賞でき
12		①入賞を目指して広告を制作する	表したいことを、フォントなどのいろいろな表現を、見る人がわかりやすくできるのが難しかった

○情報の収集（2時間目）

全体として端末を使用し、広告の情報について分析し、考えを深める活動を行った。

★Google スプレッドシートのコピーを一人ずつクラスルームにて配付し、生徒はそこに書き込みながら活動した。スプレッドシートのタブを複数作り、1時間ごとにタブを切り替える授業を進めた。

○整理・分析（3～6時間目）

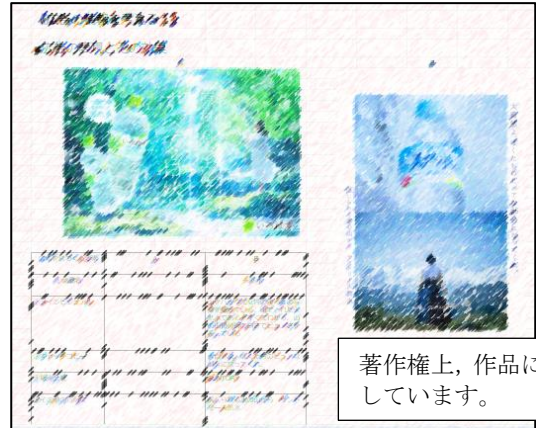
広告の情報について分析し、考えを深めた。

★コンクールに向けて広告作りの練習を行った。

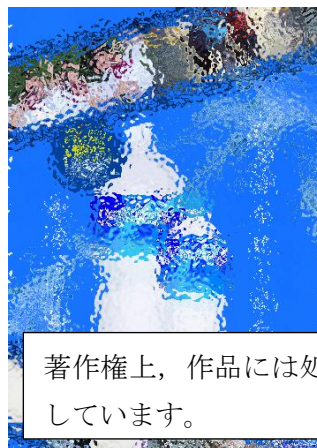
まず Canva にて4枚の写真がついているテンプレートを配付した。その4枚の写真をもとにこちらで示した課題の「アクエリアス」についての広告を作成することを示した。

★「アクエリアス」と写真に関してのマインドマップ※1を作成し、それをもとにキャッチコピーを考え、実際に Canva を使用した広告の練習作りに入った。最後に班内にてミニコンクールを開いた。ミニコンクールで選ばれた生徒の作品は教師や生徒が端末を i-Projection に繋いで投影し、発表した。

※1 ノートに手書きで作成している生徒もいれば、Google スライドを使用している生徒もいた



著作権上、作品には処理をしています。



著作権上、作品には処理をしています。



★Google サイトで広告コンクールの応募投票サイト※2を示し、コンクールの応募項目を確認した。また審査基準や注意事項を Google スライドで示した。その後、広告コンクールに向けた広告の作成を始めた。※3

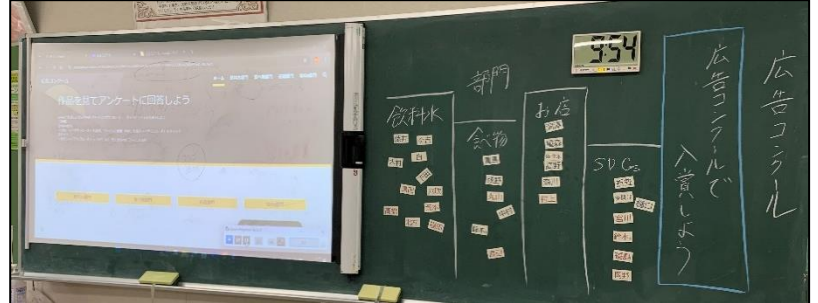
※2 Google サイトには投票に使うためのフォームと広告を埋め込み、広告を見ながら投票ができるようにした。

※3 コンクールの広告の作成は手書きでもよかったが、すべての生徒が Canva を選択した。



○まとめ・表現・振り返り・改善（7時間目）

- ★完成した広告を PNG ファイルにし，生徒自身に Google サイトにアップロードさせた。
- ★自分の作品の工夫した点を書き，その後，ほかの生徒の作品を見て，感想をシート6（スプレッドシート）に記入する。
- ★部門ごとに投票し，結果を確認する。



実践を終えて

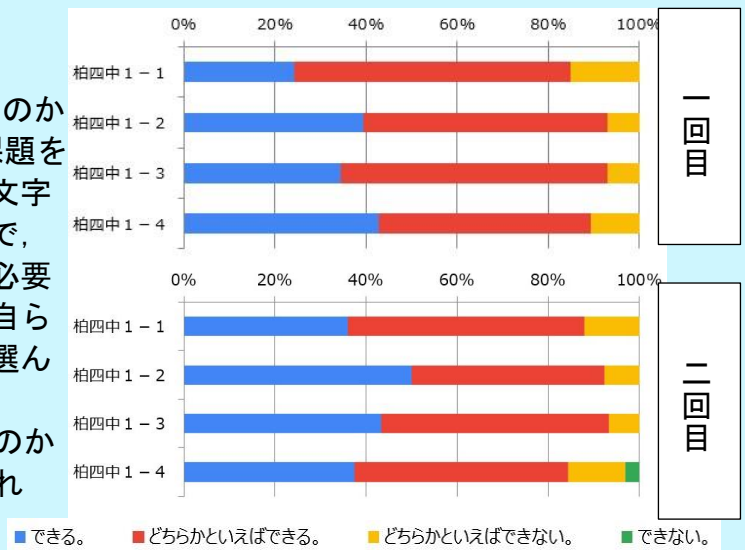
- ・アンケート「課題を解決するために，自分に合った方法を選択することができる。」より，今回の広告作りの授業では，

①何の広告を作るのか

②どういうキャッチコピーをつけるのかなど，「魅力的な広告作り」という課題を解決するための活動に取り組んだ。文字と画像を組み合わせることで，自分に合った方法を選択することが必要となる。このアンケートから，生徒自らが課題解決のためのより良い方法を選んでいたことが読み取れる。

- ・また，別の单元では，手書きで作るのか端末で作るのかを選択する姿が見られた。端末を選んだ場合には，どのアプリを使うのかも考え判断しており，

自ら判断し，学習に向かう姿勢が育成されたことが読み取れる。



授業を参観して下さった先生方の中で，

- ・社会科の先生…スプレッドシートを使用した毎時間の振り返りを行うようになった。（振り返り・改善）
- ・美術科の先生…Canvaを使った授業を行うようになった。（まとめ・表現）
- ・1学年…林間学校の事前学習にてコラボノートを使用した新聞づくりを行った。（まとめ・表現）

→「まとめ・表現」を行うには，やはり「情報の収集」や「整理分析」する力の育成が大事だと感じた。